

金賞

水面に浮かぶヒツジグサ



8月下旬頃国定公園道後山付近の溜池の
水面に映る杉林と水面に浮かぶヒツジグサを
撮影しました。

銀賞

水面に写る朝雲と広がる蒸気霧



秋の紅葉と朝日を帝釈峡に撮りに行った際にちょうど桜橋上から撮影してた際に山から朝日が上がってきて下を見るとき綺麗なウロコ雲がリフレクションと冷え込みもあって湖の水面には蒸気霧がでており幻想的な雰囲気にも包まれておりました。私の写真でその情景が少しでも伝われば嬉しいです。

銀賞

山紫に茜の空遠く



奥出雲の山水画的風景に憧れ、この場所（570 米付近）を見つけてもう 15 年撮り続けています。此処は鳥取、岡山、広島、島根の四県にまたがる山々を一望出来、時には大雲海が見られる自慢の穴場でした。3～4 年前から SNS 等で知ったと、季節になると遠くは京都や大阪、広島方面からも撮影に訪れる人がある様になりました。遥々遠くから来て貰うのはありがたい事なのですが、その一方で静かな穴場のままであってほしいな…との気持ちや願いもあります。

特別賞

二人旅



秋のひろしま県民の森へは、比婆山連峰を目指すハイカーの方が多く来場されていました。

ベテランの夫婦が登山される姿を見、20年程若い私ですが、20年後も家内とともに、仲良く健康に過ごしていければいいなとふと思いながらシャッターを押しました。

特別賞

燃ゆる晩秋



2023年11月4日、比婆山ブナ原生林で晩秋の森を歩く。

木々達は、次に訪れる季節の為にしっかりと幹を太らせ実をつけ
葉を落として準備を整えていく。

葉の色が茶色に変わりゆく、その最後の瞬間は燃え盛る炎の如く、
一番美しいのではないだろうか？

炎を纏ったかの様な、燃える木々を切り取りました。

特別賞

一期一会の小さな物語



森の中の小さな世界に魅せられるのも、私にとって森を歩く楽しみです。

きのこのお母さんの傘に守られ、寄り添う子ども

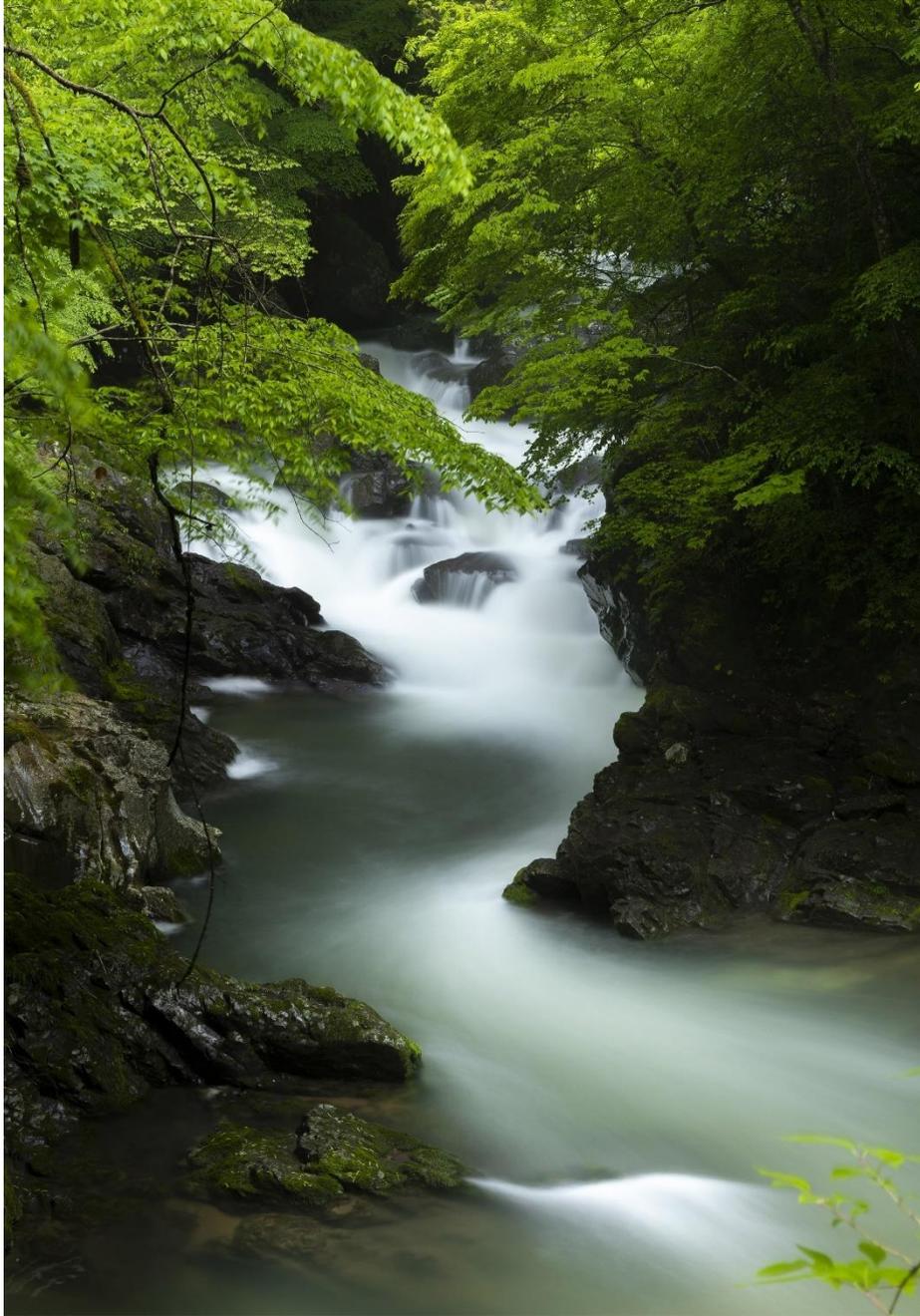
『お母さん大好き』と言う声が聞こえてくる様でした。

今日もまた小さな世界の物語に出会い胸が一杯になりました。

偶然に目にすることが出来た小さな世界との出会いは、いつも一期一会
と感じます。

特別賞

雨上がりの清流



帝釈峡で初夏の雨上がりの断魚溪を撮影しました。若葉のみずみずしい新緑の木々と前日からの雨で水かさの増した清流の白い水の流がとても美しく、夢中で撮影しました。毎年訪れている秋の紅葉も素晴らしいですが、この清々しい季節の風景も帝釈峡の魅力です。

特別賞

永遠の守護者



北極星が宇宙の中心であり、そこから秩序・安定が生まれるという考え方は、古代から多くの人々に信じられてきました。

現代の科学的知見から見ると正しいとは言えませんが、その考え方は、古代から現代に至るまで人々に大きな影響を与えてきたと思います。

また、よく手入れされた芝生の丘と、おとぎ話に出てくるような木々からは、美しく平和な世界が表現されているように思えました。

特別賞

マツムシソウ



旧・吾妻山ロッジ付近のなだらかな山肌には、マツムシソウが群生しています。

可憐な水色の花、秋を代表する花の一つだと思いますし、人の心を癒してくれる感じがします。

特別賞

錦秋のループ



木次線の雄大な風景で有名なおろちループですが、鉄道風景以外にも美しい紅葉が360度、どの方向にも広がっています。美しい曲線を描いたループ橋と、午後の光を浴びて輝く紅葉を絡めて撮影しました。